

「小河内」便り 第23号 平成25年5月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（理事長 渡辺眞作）



連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3
安佐小河内集会所内

TEL&FAX 082-835-0831

2月ぶりのお便りです。お元気ですか。

野山が冬眠から覚め、新緑に変わり、すべての生き物が躍動する春になりました。普段静かな小河内の山里もGWは都会に出ていた子供や孫たちが帰り農作業、耕運機や草刈り機の音で賑やかになり束の間の活気があります。農繁期が終わると、若者は帰り、又静かな山里に戻ります。原稿を書いているうちに、5月も下旬になり真日が続いていましたが、中国四国地方は、早くも梅雨入りと発表されました。



小河内の今（本郷集落の水田と新緑の小河内の最高峰滝山691m）



年間数日間稼働の耕耘機も出番で大活躍（下三根集落）

目 次

・総会	P 2
・平成25年度小河内Oプロジェクト行事等予定	P 2～3
・ハウス、白島田植え	P 3～4
・小河内小学校統合問題	P 4
・小河内の財産、里山と生物多様性	P 5
・バーベキューの火熾しは弥太郎君で	P 5～6
・若い人へ、あなたの力を小河内にお貸し下さい	P 6
・編集後記	P 6

総 会

平成25年度総会を別紙の通り6月23日（日）行います。

当法人は、元気な小河内、「住んで良かった、住んでみたい、行ってみたい、小河内」を目標に、農地・農業保全事業や農業体験ツーリズムによる住民との交流、炭焼き事業（弥太郎君）等の事業で、地区の活性化を図っておりますが、期待される効果が出ていないのが実情です。

総会では「特に小河内を元気にするため、どうしたら良いか」や「会員、住民の協力体制」について会員の皆様の建設的なご意見やお考え、アイデア等を承りたいと、思います。

平成25年度、小河内Oプロジェクト行事等予定

平成25年度の行事日程は理事会、総会で正式に決定しておりませんので、昨年の日程等を参考に案を作成しております。小河内各種団体の行事日程は3月～4月に行われた各種団体の総会資料に基づいております。

平成25年4月

月	日	曜日	行事名	主催者	備考
4	21	日	各種団体総会	各種団体	
5	12	日	Oプロ理事会	Oプロ	
	25	土	ハウス田植え	Oプロ	
	26	日	白島田植え	Oプロ	
6	2	日	安佐北トレイルラン	安佐北区役所	弥太郎君
	9	日	泥落とし祭り Oプロ理事会	コミ協 Oプロ	
	23	日	Oプロ総会	Oプロ	
7			Oプロ理事会	Oプロ	
	21	日	地区一斉清掃	公衛協	
	(21) 予定	日	参議院議員選挙	県選管	
	27	土	ハウス草取り	Oプロ	
	28	日	白島草取り	Oプロ	

8	3	土	小河内、飯室献血	公衛協	コムズ
	18 (25)	日	川内小学校支援級夏休み体験	○プロ	
	24	土	ツーリズム、親水小河内川下り	○プロ	
9	1	日	小学校周辺整備、清掃	コミ協	
			○プロ理事会	○プロ	
	15	日	敬老会	コミ協、社協	
	29	日	地区民運動会	小学校、コミ協	
10	12	土	ツーリズム、牛頭山登山	○プロ	
	13	日	野活農産物市	○プロ	
	14	月	歩こう会	体協	
	26	土	ツーリズム、柿もぎ体験	○プロ	
11	3	日	小河内養山神社秋季大祭		
			○プロ理事会	○プロ	
	(10) (17)	日 日	県知事選挙、県議補選	県選管	
	17	日	ハウス収穫祭	○プロ	
	23	土	ツーリズム、ゆずもぎ体験	○プロ	
12	1	土	ツーリズム、漬物講習会	○プロ	
	15	土	ツーリズム、竹林整備と門松づくり講習会	○プロ	
1	12	日	とんど	コミ協	
			○プロ理事会	○プロ	
	15	土	ツーリズム、炭焼き体験	○プロ	
3	8	土	ツーリズム、滝山登山	○プロ	
			○プロ理事会	○プロ	

その他昨年は、下記外部行事に参加

安佐公民館ふれあい祭り、安佐商工会祭り、高陽絆祭り、己斐上みらいバザー、文教女子大学祭、フードフェスタ、可部灯り祭り、亀楽庵のオープニングイベント、白島碓神社祭り、可笑屋牡蠣祭り、安佐北元気フェスタ (11回)

ハウス、白島田植え

今年も5月25日(土)「ハウス食と農と環境体験教室・広島」と26日(日)白島商店会の「酒米づくり」の田植えがありました。初めて田植えをする子供は泥んこになりながら大はしゃぎ、人気体験教室です。3年目になる今年のハウス応募者は100人を超え、抽選で11組31人参加。

白島商店会も3年目に入り、毎年ほぼ固定メンバーの18家族、57人参加、小河内との交流が深まっています。参加者に食と農と環境の大切さを学び、小河内との交流が深化、絆が深まることを願っています。両参加者ともこの農業体験が楽しかった、又参加したい、とアンケートに書いていました。



ハウスホテルかごづくりを体験



ハウス集合写真



白島商店会酒米づくりの田んぼと田植え、親子が初めて田植えに挑戦



小学校統合問題

小河内小学校児童の減少が続き、広島市教育委員会から、学校の適正規模（子供の学力や集団生活等）から飯室小学校への統合計画が発表されております。父兄や地区民と当局との話し合いが度々行われておりますが、小学校統合問題（小河内に小学校がなくなる）は地区の浮沈に係る大変重要な問題です。子供の将来にとってどちらが良いか、を中心に児童数の減少等客観情勢も見ながら又、廃校後の小河内ビジョンをどう描くかも見据えながら総合的に冷静に判断することが必要です。地区に保育園が廃園となり、続いて小学校もなくなれば、過疎化に拍車がかかることになり、当法人が進めている元気なまちづくりに水を差すことに繋がります。が、厳しい現実もあることで、苦渋の選択を迫られております。当法人はこうしたことを予想、夢や希望の持てるまちづくりを進め、若者の流失防止や呼び込み等で小学校の存続を願っておりましたが、成果が出ないうちにこうした今日を迎えました。



統合問題で揺れる小河内小学校

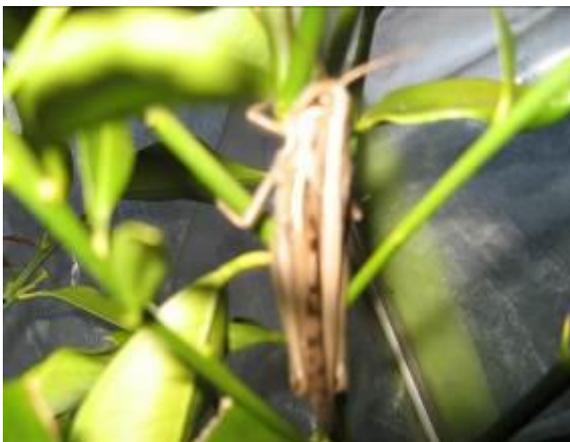
小河内の財産、里山と生物多様性

小河内地区は、滝山（692m）と牛頭山（689m）の2つの高い山に囲まれた急峻な地形で平野部がないことから高度成長期に工場進出も団地開発の無く、昔のままの姿と住民が住んでおり、都市化に汚染されない豊かな自然と農村文化が残っている市内でも数少ない地区です。

山の上まで切り拓かれた棚田を守り炭焼きや川魚などを獲り自給自足的暮らしをしてきました。多くのいのちの繋がりの中で自然と共生しながら生きてきたこの「里山」と「生物多様性」は小河内の大きな財産です。が今、農業の担い手の減少から耕作放棄地の増大や山林放置等から多くのいのちを育ててきた里山が崩壊されつつあり、生物多様性にも影響を与えています。

多くの生き物は全て直接に、間接的に支え合って生きています。「生物多様性」とは、こうした多くのいのちの繋がりのことです。数年前アメリカで突然蜜蜂が消滅し（蜜群崩壊症候群）、農業生産が大幅に減少、それは世界中に広がり、日本でも起こってきている（大沼あゆみ・慶大教授、5月29日付け中国新聞・天風録）。農業生産に欠かせない蜜蜂の受粉サービスを蜜蜂はタダでやってくれています。農業以外にも医薬品分野でも生物を幅広く利用し、その恩恵を享受しています。里山も田圃も放置すると種の単純化が起こり、生態系が変わり、多様性に影響を与えます。生物多様性は、人間が生きていくのに不可欠な基盤になるもので、多様な種が生存する環境は、変化に強く安定しており、人類に長期的な保証を与えてくれます。こうしたことから生物多様性条約で希少生物や植物は国際的に保護されています。「里山」と「生物多様性」は密接な関係があり、目に見えない恩恵を与えていることと今それが危機にあることも良く認識、関心を寄せる必要があります。

最近小河内でツバメを見かけることが少なくなっています。



冬に生きるイナゴ



小河内川で水生生物を観察、ホタルも多くいる

バーベキューの火熾しは弥太郎君で

夏は野外でバーベキュー、しかし炭を熾すのに一苦勞、「弥太郎君」に任せて下さい。

「弥太郎君」は枯れ杉葉、割り箸炭、それに国産の木炭が一袋にセット、袋の矢印（↑）から火をつけると、紙袋⇒枯れ杉葉⇒割り箸炭⇒木炭、と順次火熾しができるように工夫された着火材です。

（実用新案登録第3159621号）1袋600g入り

「弥太郎君」は・・・

- ・ 枯れ杉葉、使用済割り箸の炭、国産木炭を組み合わせ袋詰めしている環境に優しい商品。
- ・ 袋に火をつけて軽く扇ぐだけで簡単に着火します。

- ・一袋（約1時間火持ち）あれば、一家族でバーベキューを楽しめる。
- ・手が汚れない、便利な商品。

ホームセンター、ナフコ店で販売中（398円）です。弥太郎君でバーベキューをお楽しみ下さい。



ナフコで販売中の弥太郎君



交流会で弥太郎君でバーベキューを楽しむ

若い人へ、あなたの力を小河内にお貸し下さい ー 再びIターン、Uターンのススメ ー

当小河内地区は、豊かな自然と農村文化が残っている市内でも数少ない地区です。

その小河内が少子高齢化、過疎化と言う時代の波の直撃を受け、少子高齢化、過疎化は更に進み、小学校の統合問題へと進み、里山や生物多様性の危機にまで及んでいます。

数年前からこうしたことは予想され、平成23年4月、NPO法人を設立、農村、農業保全事業を始め、農村体験ツーリズムによる都市住民との交流、炭焼き事業等で地区の活性化を図っております。しかし、企画から実施等まで高齢者が携わっており豊かな感性、柔軟な発想力、行動力等を備えた若い人のお力が是非必要です。農業はアベノミクスで、力をいれている有望な産業の1つです。農村、農業の崩壊は日本の崩壊に繋がる問題です。我こそはと思う「志」ある若い皆さん、農業や農村の過疎化問題、町興しに関心と意欲をお持ちの方、是非お知らせ下さい。個別に相談させていただきます。

編集後記

我が国は今、諸外国のナショナリズムが台頭、領土や海底資源、歴史認識問題を力の論理で威圧、正義と国際ルールを基調とする国際法上の外交問題が、又国内でも人口減少、老いの社会に入り中山間地だけでなく、都市部に近い大規模団地でも日常生活や買い物等の移動の足の確保が課題になっています。我が小河内は急傾斜地に民家が点在、多くはバス停から遠く買い物や通院等の移動の足の確保が課題です。

ベンサムの唱えた「最大多数の最大幸福」は功利主義の政治哲学ですが、少数の地方が四捨五入（切り捨て）されてはいけません。一寸の虫にも5分の魂があると言われるように少数に生きていく真の姿が見えます。（S）



雨のかたつむり